

## 1. 法人理念

### 【法人理念】 限りない前進

平和で笑顔のあふれる家庭のような施設を創り、高齢者の命・暮らし護ります。

次の言葉をモットーとします

一、「共に生きる・共に支える」

一、ご利用者一人ひとりの人生、個性の尊重

## 2. 総括

社会福祉法人六甲鶴寿園が運営する6事業所は、「限りない前進」を法人理念として掲げ、その思いを未来に繋げるため、職員の意志統一を図り、『安全で安心なケアの提供と、安定した経営』に取り組みました。

特に、今年度は「ガバナンスの強化」と「法令遵守」について徹底しました。

「ガバナンス」とは「情報を共有し、対話を通して組織が意思決定を図ること」です。施設長会議、相談員会議、ケアマネ会議、ナース会議等、各職種の会議を定期的に行い、意思統一を図りました。

「法令遵守」「コンプライアンス」ですが、社会的要請に応じて信頼を確立することで、適切なサービスの提供を目的とするためには、法人・施設における理念の浸透を図り、利用者本位・利用者尊重の姿勢を基本とした体制づくりに努めました。このような取り組みをしっかりと可視化出来ることで、ご利用者・ご家族から信頼・信任を受けることとなります。

法人全体としての「危機管理チーム」「法令遵守委員会」を立ち上げました。相談員が中心となり、形骸化したリスクマネジメントから脱却し、コミュニケーションを通して施設・職種の垣根を越えて情報収集・共有し、更なる事故予防対策や、事故が起きた時の迅速な対応ができるようになるためです。

また、「尊厳を支えるケア」の提供の実現に向けて、「尊厳とは、人がそもそももっている自分の幸せを追い求める力・魂」であり、お互いに認め合う関係性から生まれるということ、再確認しました。

職員の質の向上に向けては、毎月のリーダースキルアップ会議を中心に、相談員会議、新人・現任研修を行い倫理観の醸成、老人福祉に価値を見出すことにつながりました。

安定した経営状態を実現し、地域の福祉ニーズに応じた多様な取り組みを進めて行く事は公益性の高い社会福祉法人の使命です。経営能力やガバナンスの向上の為にも、財務諸表や今後の建て替え等を含めた事業計画などをホームページで積極的に公表し、透明性の向上、明確化に努めました。

経営面においては、法人各事業所、職員の慢性的な不足と、相次ぐご利用者の退所もあり、全体的に稼働率は前年を下回りました。各施設努力はしましたが、事業活動計算書当期活動増減差額は前年度比マイナス 21,552 千円の 94,469 千円となりました。

「平成 28 年度から「国有地を活用して介護施設を整備する事業」については、入札により建築業者も決まり、平成 30 年 9 月 15 日から工事が開始となりました。法人の理事、評議員、監事の方々はじめ多くの方の協力により、着実に来年度のオープンに向け進行しています。令和 2 年 4 月 1 日の開設に向けて、新しい施設が法人のさらなる発展につながるように全職員一丸となって努力いたします。

### 3. 重点項目

#### 1、法人事業の安定かつ適正な運営を目指す

①稼働率の改善、介護保険事業収入及び老人福祉事業収入は、以下の通りでした。

	平成 29 年度	平成 30 年度
介護保険事業収入	720,938 千円	720,039 千円
老人福祉事業収入	252,030 千円	239,758 千円
当期活動増減差額	116,022 千円	94,469 千円

\*収入面は、各施設が稼働率のアップに向けて取り組みましたが、ご利用者の高齢化・重度化が進み、入院が必要となるケースが増えました。支出面では採用に関する費用（紹介手数料）が予想以上となり、結果、**当期活動増減差額は前年度比-21,552 千円**となりました。

②個々の施設で行ってきた業務を、相互確認し法人全体で行うようにし、施設間の連携を深めるように努めました。情報を共有することで、**事務会計の業務の効率化及びレベルアップ**に努めました。

#### 2、尊厳の保持・虐待予防・事故予防に向けた組織体制の強化を図る

①法人理念の実現のためには、まず施設で働く職員一人一人の「**人としての成長**」が重要です。

平成 30 年度は、まずは「**高齢者福祉施設職員としての心得**」の徹底に努めました。

また法人として「職業倫理観」「ものの考え方」「仕事への向き合い方」等についての研修を 3 回行いました。リーダースキルアップ会議を法人として月 1 回実施する中で、管理職、リーダー等職責者が法人理念を共有し、それを基盤とした各施設の会議・委員会につなげることができました。

②昨年に引き続き、**各職種部会**を開催しました。30 年度は施設長・相談員・事務員以外にも、看護師・ケアマネ部会を定期的に開催するようにし、各会議にて情報共有を行うとともに、「**尊厳の保持**」「**虐待予防**」「**事故予防**」の視点から業務の改善・見直しに取り組みました。

③事故予防については毎月の相談員会において内容の検討及び情報の共有化を図ってきましたが、介護現場におけるリスク管理の中心的役割である相談員が、より意識的に責任をもって関わり、職種を超えたリスクマネジメントを行うために、**法人危機管理委員会**を立ち上げました。リスクに対する視点を深め、情報共有を行うことで、リスクに対する意識の向上及び事故発生時の迅速な対応に努めました。

④感染症について、年末に法人内施設においてノロウイルスが発生しました。**法人全体として振り返り**を行い、体制の構築、連携について検討し、**再発予防を強化**することができました。またインフルエンザに対しても、流行前から各施設の状況を確認し、新聞報道等の記事を通して具体的な対策を講じ、対応を強化することで、**集団発生を防ぐ**ことができました。

④土砂災害に対して、相談員を中心に、法人としての対応を統一しました。警報発令時には、気象情報や公的交通機関の情報等をもとに各施設が連携し、ご利用者の安全を確保するための対策（上階への一時的避難など）や、出勤職員や勤務時間の調整等を行いました。8 月の「盆踊り」は台風直後ということもあり、天気予報等の情報を共有し、検討の上、中止の決断を行いました。

### 3、施設、各種研修により職員のやる気・能力を開発し、人材育成を図る

- ・採用は法人単位で取り組みました。面接の際は各施設長が立会い、法人の理念を丁寧に説明しています。また採用決定後は、新入職員が定着しやすいよう、応募者の経験年数、特性に合わせて、適材適所の配置を行いました。
- ・新特養の創設も見込み、新規職員の確保に取り組みましたが、退職者もあり、現状維持が精一杯でした。
- ・採用に当たっては、ハローワーク、人材紹介会社等に加え、ホームページにも求人情報を掲載し、厳しい人材難の中、面接及び採用に結びつけることができました。採用者のうちほとんどが紹介会社でしたが、中には法人ホームページからの申込者もあり、求人依頼を細やかに行うことの必要性を感じました。
- ・着任後は、各施設のOJT研修を通して、新入職員が早く専門職として勤務できるよう、サポートに努めました。
- ・処遇改善加算Ⅰ（平成29年4月改正分）を、昨年に引き続き法人で申請し、支給方法を統一しました。
- ・法人で夜勤者の送迎を開始し、夜勤職員の負担軽減に努めました。

### 4. 大規模修繕及び設備更新の計画と資金計画、助成金の活用

#### <中長期計画に基づく修繕等>

- ・厨房裏、バックヤード修繕・食堂エアコン入替工事（千山荘）
- ・地下タンク油漏れ検知器（きしろ荘）
- ・高圧気中開閉器（六甲台ビラ）
- ・キュービクル施設入れ替え（千山荘・きしろ荘）
- ・電話交換機、雑排水間管の清掃（きしろ長寿の里）

#### <「国有地を活用して介護施設を整備する事業」の推進状況>

- ・国有財産有償貸付合意書提出(神戸財務事務所) 平成30年4月2日
- ・国有地契約(公正証書による定期借地契約) 平成30年4月13日
- ・公告(3回目 期間7月23日～7月31日) 平成30年7月23日
- ・入札参加業者の決定(応募5社中5社に決定) 平成30年8月2日
- ・公募型指名競争入札(六甲道勤労市民センター) 平成30年8月20日  
\* 予定価格9億8百万に対し 落札金額9億円でコーナン建設株式会社が落札
- ・福祉医療機構から受理票届く(工事契約可能となる) 平成30年9月5日
- ・コーナン建設株式会社と工事契約書締結 平成30年9月14日
- ・工事近隣説明会（鶴甲会館） 平成30年9月27日
- ・コーナン建設着手金支払い 平成30年9月28日
- ・地鎮祭 平成30年10月29日
- ・コート六甲住民説明会 平成30年10月13日
- ・工事協定書締結(六甲鶴寿園・コート六甲鶴甲・コーナン建設) 平成30年11月19日
- ・神戸市民間社会福祉施設整備費等補助金(925万円)入金 令和元年5月24日

## 4. 事業内容

### 1. 理事・評議員会の開催

平成30年度は、次のとおり理事会5回と評議員会4回を開催した。

会議名	日時	議案
第1回理事会	平成30年6月7日	① 平成29年の業務執行状況の報告 ② 平成29年度事業報告（案）の承認について ③ 平成29年度決算報告（案）の承認について ④ 平成30年第1回評議員会の議案について ⑤ 新設特養新築工事における入札公告について <報告事項> ・平成29年度神戸市監査指導課監査結果について
定時評議員会	平成30年6月22日	① 平成29年度 計算書類の承認について <報告事項> ・業務施行状況の報告について ・平成29年度 事業報告について ・福祉充実残高について ・新設特養の建設関連進捗状況について
第2回理事会	平成30年8月1日	① 「国有地を活用しての特別養護老人ホーム建設工事」における工事請負入札参加業者の決定について ② 入札における予定価格の決定について
第3回理事会	平成30年9月13日	① 新特養建設に係る工事請負契約締結について ② 監事退任に伴う、新監事候補の選任について ③ 評議員会招集日時・場所・議案等決定について
第2回評議員会	平成30年9月28日	① 監事退任に伴う新監事の選任について <報告事項> ・新特養建設関連進捗状況について
第4回理事会	平成30年12月13日	① 平成30年度第1次補正予算（案）について <報告事項> ・理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・国有地を活用しての施設整備事業の進捗状況について
第3回評議員会	平成30年12月13日	① 平成30年度第1次補正予算（案）について <報告事項> ・国有地を活用しての施設整備事業の進捗状況

第5回理事会	平成31年3月28日	① 平成30年度第2次補正予算（案） ② 平成31年度事業計画（案） ③ 平成31年度予算（案） ④ 平成30年度第4回評議員会の議案 <報告事項> ・就業規則の変更 ・新特養建設の進捗状況
第4回評議員会	平成31年3月28日	① 平成30年度第2次補正予算（案） ② 平成31年度事業計画（案） ③ 平成31年度予算（案） <報告事項> ・就業規則の変更 ・新特養建設の進捗状況

## 2. 監事監査の実施

定款第11条に基づく「平成29年度事業報告（案）及び決算（案）」等について、監事による監査を次のとおり実施した。

開催日 平成30年5月22～23日

監査事項（1）平成29年度 事業報告（案）について

（2）平成29年度 決算（案）について

## 3. 平成30年度指導監査の結果について

### 1. 社会福祉法人・社会福祉施設の指導監査及び実地指導

・対象：①社会福祉法人六甲鶴寿園

②養護盲老人ホーム千山荘

③特別養護老人ホームきしろ荘

・実施日：平成30年11月19日 一般監査（実地）

・結果：・六甲鶴寿園は文書で報告を提出する指摘事項はありませんでした。

・千山荘、きしろ荘ともに文書で報告を求めるべき指摘事項があり、平成31年4月18日に改善報告を提出しました。

### 2. 社会福祉施設指導監査事前提出資料による書面監査

・対象：①ケアハウスきしろ長寿の里

②養護老人ホーム六甲台ビラ

・実施日：平成31年1月31日 書面監査

・結果：・2施設とも、文書で報告を求めるべき指摘事項は見受けられませんでした。

#### 4. 第三者委員会の実施

社会福祉法に規定されている、「利用者等からの苦情の適切な解決に努める責務」に対し、第三者委員会を実施した。

\*平成 31 年 3 月 25 日（月）に開催予定であったが、第三者委員の急用のため、神戸市に確認の上延期とし、平成 31 年 4 月 24 日に実施した。

- ・開催日 平成 31 年 4 月 24 日
- ・内容 各施設から 3 事例提出。1 事例報告し、第三者委員より助言をいただいた。

#### 5. 諸規定の整備

平成 30 年度における諸規定の整備状況は、次のとおりである。

規程名称	整備内容	施行年月日
就業規則	「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」に伴う一部改正	平成 31 年 4 月 1 日

#### 6. 職員研修の実施

平成 30 年度事業計画に基づき、次の研修会を法人にて実施し、職員の資質向上に努めた

##### ①法人合同研修

日	研 修 内 容	参 加 者
H30. 8. 23	職業倫理 「尊厳と安全について」「認知症研修」「仕事をすると いうこと」	施設長、生活相談員、 事務員、看護師、介護 職員、介護支援専門 員、栄養士、調理員
H30. 9. 18	六甲鶴寿園・虐待防止研修 「高齢者虐待防止・尊厳の保持」	施設長、生活相談員、 事務員、看護師、介護 職員、介護支援専門 員、栄養士、調理員
H30. 12. 21	「介護は人を育てる仕事」	施設長、生活相談員、 事務員、看護師、介護 職員、介護支援専門 員、栄養士、調理員

②法人内 新任・現任研修

日	研修内容	日時	研修内容
H31. 1. 29	法令遵守・職業倫理 ガバナンス	3. 1	入浴ケア 非常災害時の対応
2. 1	倫理規定・職業倫理・虐待防止	3. 8	看取りケア・看取りケア指針 拘縮・褥瘡予防
2. 8	高齢者虐待・身体拘束・プライバシー保護・排泄ケア	3. 12	口腔ケア 環境整備・5 S活動
2. 12	介護保険制度・ICF ケアプラン・アセスメント・モニタリング・カンファレンス	3. 15	介護予防及び介護度進行予防 レクアク活動の意義
2. 15	感染予防・感染症対策 食事・栄養・食中毒・食事介助	3. 19	ケアサービスの記録
2. 19	リスクマネジメント 移乗移動・ポジショニング	3. 22	認知症ケア・マニチュード・パーソンセンタードケア
2. 22	高齢者の疾病・急時の対応 接遇マナー	3. 26	死生観

**7. 法令遵守・職業倫理研修（施設長対象）** H31年1月16日 場所：新長田ピフレホール

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護指導課 主催

施設長対象

テーマ 「要介護施設従事者等によるこれ医者虐待防止について」

「障害者虐待について」

「介護・障害者施設における虐待リスクマネジメント」

**8. 法人内会議**

法人の理念を共有し、同じ方向性での事業運営の為に、下記のとおり職種別会議を行いました。

- ・施設長会議：週1回（火曜日）
- ・相談員会：月1回（第4水曜日）
- ・リーダースキルアップ会議（第1火曜日）
- ・事務会計会議：毎日（毎朝1日の予定確認を行い、夕方に進捗状況を確認する）
- ・看護師会議：年2回
- ・栄養士会議：年2回

**9. 法人行事等**

- ・利用者レントゲン撮影（公益財団法人 兵庫県健康財団）平成30年6月18日
- ・職員健康診断（公益財団法人 兵庫県健康財団）平成30年7月2日
- ・ストレスチェック：職員健康診断と同時に実施（兵庫県健康財団）平成30年7月2日

## 10. 社会貢献事業

- ・鶴甲パークフェスティバル：福祉相談窓口として参加 平成 30 年 5 月
- ・神戸市老人福祉施設連盟を通してエコキャップ集めに協力（年 2 回）
- ・近隣の小学校のテトラパック集め、ベルマーク集めに協力（年 2 回）
- ・ほっとかへんネット（灘区社会福祉協議会の地域福祉支援ネットワーク）

## 11. 外部施設長研修

○神戸市老人福祉施設連盟

- ・施設長会議 H30. 5. 25（金） 「高齢者施設の問題と課題」  
H30. 11. 7（水） 「今日的な労働市場と労基法改正等への対応について」  
H31. 1. 22（火） 「介護をとりまく現状と施設長の役割」  
H31. 3. 27（水） 「31 年度予算について」
- ・ブロック別及び施設別施設長会議（施設間の情報交換として参加）  
灘区ブロック会議：2 か月に 1 回  
養護施設長会：2 か月に 1 回  
ケアハウス施設長会議 3 か月に 1 回

## 12. 六甲鶴寿園診療所

高齢者は体力・免疫力の低下により容易に体調を崩しやすく、介護・看護・医療が連携し、日々の健康管理に努めながら、体調不良時の対応、スムーズな医療機関への受診等早期対応で重症化を防ぎ、ご利用者の命と暮らしを守ることに努めました。

- ①管理医師 1 名、非常勤医師 2 名の体制で、各施設の定期診察を行いました。
- ②診察日以外にも、電話での指示や、必要時は紹介状を書いていたいただき、医療機関の受診に繋がりました。
- ①インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチン接種等、感染症予防に努めました。
- ②国保連請求時の返戻等を防ぐため、前年度より導入した請求確認ソフト「べてらん君」によりを導入しました。

## 13. 法人施設職員構成表（平成 31 年 3 月 31 日）

施設名	正職員		パート		嘱託		合計
	男	女	男	女	男	女	
六甲台ビラ	8	3	3	9	0	2	25
きしろ長寿の里	15	15	5	23	0	0	58
千山荘	5	11	0	2	0	1	19
きしろ荘	8	10	0	11	0	0	29
法人本部	0	0	1	0	0	0	1
診療所	0	0	0	1	0	0	1
合計	36	39	9	46	0	3	133